

令和6年度 広報広聴委員会

市民との意見交換会

実施報告書

岩見沢市議会議員と

市民との意見交換会



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 参加者からのご質問等
4. アンケート集計結果
5. 最後に

1. はじめに

令和 6 年度春の「岩見沢市議会議員と市民との意見交換会」を市内 8 会場にて開催させていただきました。

市議会では平成30年度に、市民との意見交換会を1年に春と秋の2回（統一地方選挙開催年は1回）開催することが望ましいとしておりましたが、新型コロナウイルスの影響や改選期のため、この度平成30年以来2回目の春の開催となりました。また、これまで平日の夕方開催が多かったところ、今回は土曜日・日曜日の昼間、1回の開催では最多となる8会場での開催と、幅広く、多くの方が参加しやすい様に考えさせていただきました。ご参加いただいた皆様に衷心より厚く感謝申し上げます。

今回の「意見交換会」は特にテーマを定めずに、ご参加いただいた皆様より市政に対して考えている身近な課題、地域課題、市全体の課題など多岐にわたるご質問、ご意見、ご要望を拝聴し、共に考え、語り合う場になったと感じております。市民、行政、議会が一丸となって山積する課題解決に取り組む必要性を痛感いたしました。

各会場でいただいたご意見を参考にさせていただき、市民の代表として議会活動を通して負託に応えていきたいと考えております。岩見沢市議会は、「開かれた議会」、「身近な議会」を目指し、広報広聴活動のさらなる充実に向けた取組を進めてまいります。

今後とも多くの市民の皆様からのご意見を頂けることを切に願います。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 宮下 透

副委員長 大和 勝

委員 新井優也

枝廣晴基

坂井秋子

野尻 清

猪口満雅

山田靖廣

松本一郎

2. 開催概要

■実施会場・日時・来場者数

	会 場	日 時	来場者数
①	南部連合会館 (岩見沢市 8 条西 6 丁目 15-2)	令和 6 年 5 月 11 日(土) 午後 1 時 30 分より	1 名
②	日の出コミュニティセンター (岩見沢市日の出 3 丁目 6-17)	令和 6 年 5 月 11 日(土) 午前 10 時 30 分より	16 名
③	南コミュニティセンター (岩見沢市南町 80-3)	令和 6 年 5 月 11 日(土) 午前 10 時 30 分より	6 名
④	緑が丘連合会館 (岩見沢市緑が丘 1 丁目 94-2)	令和 6 年 5 月 11 日(土) 午前 10 時 30 分より	15 名
⑤	北ふれあいセンター (岩見沢市北 3 条西 11 丁目 1-20)	令和 6 年 5 月 12 日(日) 午前 10 時 30 分より	21 名
⑥	幌向総合コミュニティーセンターほっとかん (岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 70-5)	令和 6 年 5 月 12 日(日) 午後 1 時 30 分より	13 名
⑦	北村環境改善センター (岩見沢市北村赤川 595-4)	令和 6 年 5 月 18 日(土) 午前 10 時 30 分より	10 名
⑧	栗沢市民センター (岩見沢市栗沢町北本町 168-3)	令和 6 年 5 月 11 日(土) 午後 1 時 30 分より	13 名
合 計			95 名

■担当議員

会場	代 表	メンバー	
①	猪口満雅	伊澤幸信	峯 泰教
②	坂井秋子	太田博之	日向清一
③	宮下 透	齊須正友	坂井照美
④	野尻 清	新井優也	上田久司
⑤	大和 勝	豊岡義博	平野義文
⑥	枝廣晴基	木村光宏	松本一郎
⑦	山田靖廣	石黒武美	武田貞行
⑧	宮下 透	枝廣晴基	河合清秀

【事業内容】

テーマを絞らず、参加した市民の皆さまの地域要望などの自由な意見意見交換を市内8会場で実施しました。

3. 参加者からのご質問等

注： ご意見・ご質問や回答は紙面の都合上、一部抜粋し要約させていただいております。

Q 参加した皆さまの質問、意見、要望

A 議員の回答

①南部連合会館

座談会形式で情報交換を実施しました。（写真撮影なし）

②日の出コミュニティセンター

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q 町内会の役割、町内会の加入率低下、役員のみ手不足について。

1. 市民全体での町内会活動への理解が不足している。例えば札幌市で「未来へつなぐ町内会ささえあい条例」が制定・施行されているように、行政として住民に理解してもらうアピールが足りないのではないか。
2. 未加入世帯への各町内会での取組、現状について。（町内会費の集め方、広報いわみざわ・議会だよりの配布、ゴミステーションの利用方法）
3. 街路灯を町内会で設置しなければならないという記載はどこにあるのか。

A ゴミステーション、街路灯の設置に関しては、町内会にお願いしています。費用に関しては市からの助成を行っています。また、広報いわみざわ・議会だよりは全戸配

布が市の方針となっています。町内会へ配布後そこからどう配布されるのかはそれぞれ町内会にお願いしています。

Q 新庁舎で使用されている地熱を利用した「アスチューブ」という暖房の燃費を軽減する装置がついている。実際に使用したデータとその費用対効果を公開してほしい。市として環境へ配慮しているとアピールにもなると思います。

A 令和5年度の決算が本年10月に出ますので、その頃には出るかと思えます。まず、情報を取りましてお伝えします。その後、公開してほしいとの事であればご意見としてあげさせていただきます。

Q 太陽光発電の導入をもっと利用するべきではないか。

A 太陽光発電は10年を過ぎると発電効率が落ちたり、学校に設置してはいるがさほど費用対効果が見られない。この後のメンテナンスを考えるとメリットだけではないので慎重に考え市の方へ訴えていきたい。

Q バス路線が変更されてから大雪の時にすぐバスがストップしてしまうので冬の間だけでも路線の見直しをしてほしい。また、間口の置き雪問題を考えてほしい、小型のショベルカー等を活用してほしい。

A 除雪に関しまして作業される方のなり手不足の問題が出てきているなかで今のレベルを維持するのも難しくなってくる。また、間口除雪に関しては高齢者、障害をお持ちの方への助成を行っております。それらを活用していただきながら皆さんのご意見も参考にしながら協議、または要請していきたい。

Q 以前支給されていた高齢者に対してのバス券を復活させてほしい。

A 公共交通に関して要望がいくつかあったことを踏まえ取り組んでいきたい。

Q まなみーるのエントランスの利用について。エントランスのみ貸し出しがされていないようです。市民の方が利用しやすいように基準を見直し、開放してはどうか。絵画、芸術作品の展示など。

A 現在まなみーるはNPO法人に委託しています。その中でこういった形で運営しているのかお調べしましてお伝えさせていただきたいと思えます。

Q 千歳市にできるラピダス効果について、空いている土地を利用するなどして岩見沢の関連施設を導入するなどをぜひ検討してほしい。

A 高規格道路がこちら側へどんどん延びてきている。大きな工場が近くにできるので少しでも岩見沢の利益が出るような形を進めるために、参考にさせていただきたいと思います。

Q 十数年前に4条通りのバス停が移動したが、近くに信号も横断歩道もなく道路を渡るのにとっても不便である。

A 4条通りは道道であるため要請を出していきたい。また、町内会からも要請をしてもらえるようにお話ししたい。

Q 人口が減っていく中、議員定数について減数の議論があるのか？

A 去年の選挙の半年前の検討委員会でも議論されております。選挙ごとに毎回、検討すると決まっておりますので、3年後の選挙について、今の定数が岩見沢の実情に合っているのかも含め検討する機会があると思いますのでお伝えさせていただきます。

Q 昨年、町内会の道路整備で測量を終えた。予算が付き、工事が始まるのかと思い期待をして2月に市役所に出向いたが今年度の計画には入っていない、いつになるか未定とのことです。ぜひ早めに対応してほしい。

A 計画がどのようなになっているのかも含め確認させていただきます。

【その他のご意見・ご要望】

- 新病院の内装では、色々な形で木を使用してほしい。
- 予定地にはナラの木が沢山あるので、それを内装に使用するのはいかがでしょうか。
- 補聴器への助成をぜひ考えてほしい。
- 小中学校にエアコン設置、18歳未満の医療費無料など議員の皆さんの奮闘でそうなっていて大歓迎しています。
- 高校が東西統合されますが、何かに特化した高校にすると他市から呼び込むことができるのではないかと。
- 人口減に対し、札幌から特急で30分という岩見沢。駅から徒歩10分圏内に住居が建つような計画に練り直し、若い世代を呼び込むようなアピールをしていくと良いのではないかと。

③南コミュニティセンター

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q 市立総合病院の建て替えについて、規模が今の岩見沢市にとって合っているのか、今後の人口動向を踏まえコンパクトシティ化が必要と考えるが現計画の労災病院跡地が適切なのか非常に懸念を持っている。交通手段として交通機関の乗り継ぎが必須であるがバス会社のドライバー不足の現状を踏まえるととても不安。現状をお聞かせ下さい。

A 規模については、市は縮小、見直しを検討している。場所については、早期性や経済性、交通アクセス等を鑑み決定しています。交通手段としては、乗り継ぎが多くの路線で必要となることから多くの議員も懸念しており、今後の情勢を注視し、必要に応じた交通手段も検討するべきと考えております。

A 南空知二次医療圏の中核病院としての役割も担っている。その他の要因も踏まえての用地となっています。交通手段ですが、多くの方々が納得して、通院しやすい様々な提案を行っていきたいと考えています。

Q 住宅街に隣接した農家に対して作業上生じる臭い等の苦情や休耕の圃場が雑草地となっている等の苦情が市に入っているのか。

また、農業を廃業して少し農地が残っている場合、用途変更が時間がかかる等困難であると聞いているがそのような問い合わせがあるのか。

A その様な話は来ていない。

Q 岩見沢には道の駅がないが、交流人口の増や特産品の販売等の為につくって欲しい。

A 現状は大変難しいと考えます。

A 特産品の販売・PR等、岩見沢もしっかり検討する必要があると考えます。

Q スポーツの大会誘致や関連して地元店の食事、特産品ブースの設置等を検討して欲しい。また、人口増施策として企業誘致をしっかりとしてほしい。

A 熱量を持って取り組んで参ります。

【その他のご意見・ご要望】

- 除排雪について岩見沢市は他の市・町に比して丁寧に実施していると認識しているが、バス路線等の排雪する路線に面する家庭と排雪しない生活道路に面する家庭とでは不公平感がある。自主排雪への補助の拡充や生活道路の交差点等のカット排雪の実施を検討していただきたい。
- 市営住宅跡地や工業団地内の空き地等、未管理の土地が多いが何とかしてほしい。
- 産婦人科について、子どもを産める病院が市立総合病院しかないので民間の誘致が必要。

④緑が丘联合会館

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q 車がないため、市役所に行きたいがバスが2時間に1本くらいしかなく、結局タクシーに頼らなければならない。

市立病院移転後のあの場所はどうするのか。バスも市立病院前で止まるが路線の充実を。

A バスは中央バスが路線を決める。赤字になっており市が補助金を出している。不便なところもあると思いますが、市は要望している。市立病院は解体し更地になる。新棟は当面残る。土地は地主が沢山いるので返す。今後の市立病院に向けてのバス路線

は中央バスと協議中。市民要望の多いのもバス路線。

Q 国の政策としてコンパクトシティとして取り組んでいて自治体も手を挙げているところもある。岩見沢は市役所は鳩が丘、病院は労災病院の方、買い物も郊外などバラバラ。市としてこういうまちづくりという考え、コンパクトシティの考えは。10年後、20年後を見据えたまちづくりを。

A コンパクトシティをしている町もあるが、岩見沢市は昔からこういう構想。病院については敷地も広く、地層も固いこともありここになった。市としては今のところコンパクトシティの考えはなく、今のところは難しい。おっしゃっていることはよくわかります。

Q 朝早く列車に乗る場合バスが間に合わない。学生も親が送っていく。帰りも遅いバスがない。列車にうまくつながるバスがなく、ターミナルで1時間以上待つ人もいる。利便性が悪いと岩見沢から将来出てしまう。市と議会とバス会社の話し合いでなんとかしてほしい。

A これからどんどん高齢化などで大変になる。意見として受け止め市に伝える。

Q 中央バスに依存している。大きいバスを利用しており、マイクロバス等考えていないのでは。中央バスだけに依存しないで、コミュニティバスの活用等で充実させてほしい。渡し場からこっちは停留所がなく、途中の緑が丘等には止まらないので、中央バスとの関係があるかもしれないが市自体で独自の路線やコミュニティバスの拡充等について考えてほしい。緑町等の廃止された路線や、スクールバスとコミュニティバスが一緒の路線を走っている所にもコミュニティバスを効率よく有効に活用できないか。児童生徒をコミュニティバスに乗せてもいいのでは、停留所を合わせて作る等、経費を考えてしてみてもは。

A 意見として承ります。

Q 市の共同墓地(納骨塚)は、恥ずかしいと思わないか。花も置くこともできない、線香を置くこともできない、最低。安ければいいというものではない。入る人のことを考えてほしい。三笠の中央霊園とくらべてもひどい。

公園にしても、陸上競技場などの駐車場が狭い。

給食センター前にできた新しい道路がやっと通学路になり、やっと横断歩道ができたが、片方しかなく、夏はいいが冬は除雪しないので、通学路を通ろうとすれば横断歩道のない道路を通らなければならず危険。横断歩道をつけてほしいと市に言っても

警察に言っても片方しかついていない。歩道の除雪が片側しかされていなく、道路を渡らなければ通学路に行けない人がいる。横断歩道をつけるか。歩道の除雪を。

駒沢高校の跡地はどうなるか。側溝が大雨であふれる、春には落ち葉で詰まる。駒沢高校の室内体育館への道が冬は狭くなり、保護者の送り迎えで交通量も多く危険。新しい道路を反対側から入れるように作るか、今の道路の除雪の徹底を。

A 要望として受け止めます。共同墓所は近々いっぱいになるので、次は設計段階から、入る人のことを考えていくことという意見を受け止めます。

駒沢跡地の青写真の意見を示してほしいという意見もお聞きしました。

Q 町内会館も古くなってきている。改修にお金がかかる。我々としても手に負えなくなってきている。各地でも古くなってきているのでは。市として今後どうしていかうと考えているか。南町コミュニティセンターを造っていったが、そういうのを造れば町内会館はいらないのでは。

A 東西南北に作って市としては終わり。さらにコミュニティセンターをつくる考えは、今は市にないようです

Q 旧岩東坂から緑陵高校に向かう交差点(玉泉館跡地公園の裏側)に歩道がなく子供たちが渡れない。保護者の送り迎えなどで車も多く、ダンプも通り、事故も起きている。横断歩道をつけてほしい。

Q 信号機設置などに市議は動いてくれるのか。今までやってもらったことがない。今回の会もパフォーマンスなのか。

点滅の信号機を完全な信号にしてほしいと十数年訴えているが実現しない。何度も陳情しないとまらないのでは。

A 道の公安にも話したことがあるが、全道で3つか4つしか年間につかない。交通量だけを言われると札幌になる。いかに必要かを伝えるしかない

A パフォーマンスということではない。最初にお話ししたとおり、皆さんの意見をお聞きして対応していく。

【その他のご意見・ご要望】

- ・岩見沢で高校生の全国大会等はあまり行われていない。活性化の上からも誘致できないか。
- ・高速バスを駒園で降りて緑が丘の方へ帰ってくると、木が生い茂っていて野生動物や変質者も出たりする。対策が必要では。
- ・東高校の統廃合で、あの跡地をどうするのか、青写真を示してほしい。

- ・帯状疱疹などのワクチンへの補助を市独自でやってもいいのでは。雪は多いけど住みやすい街と言えるようになるのでは。市議会から市に言ってほしい。
- ・南ヶ丘の町会で側溝が見えなかったのを見えるようにしてもらったが、蓋の設置もなく破損している所の修理もないので最後までしてほしい。担当者も変わってしまう。

⑤北ふれあいセンター

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q 空き家が年々増えているが、その対応は？

A 現在の空き家対応の状況を説明。岩見沢市の予算で率先して行っていくことがいいかもしれないが、経常収支比率が高く、自由に使えるお金が少ない状況である。あらゆる課題が山積みで、どこでどう行うか、バランスをとって解決策を生み出すことが必要である。

Q 山積する課題に対して、市議会がしっかりと条例等を作り、国に働きかけてほしい。また、朝のニュースでもやっていたが、国会議員、国政はどうしてあれだけお金がかかるのか？

A 国政に関することは、市議会議員がどうこう言える範囲ではないので、控えさせていただきます。ただ、新しい価値観の中で、工夫して実施していきます。

Q バス通りと、そうではない道路の排雪の条件を同じにしてほしい。

A 1日の除雪の距離、必要台数、また除雪体制の人数等の現状を説明。また、人手不

足や経験、スキルをIT技術で運転手の技術を補う方向で進めていることを説明。また、排雪の堆積場の多さがきめ細かく除雪できている要因。財政上、全ての道路を同じようにはできないので、その判断をすることが市議会議員の役目だと考えています。

A バス路線や公共交通を優先している。地域の皆さんには自主排雪を行ってもらっている地域もある。ただ、できないだけではなく、何ならできかを、しっかりと議論をしていきたいと考えています。

Q 政務活動費を誰でもわかるように公表してほしい。

A 政務活動費は、会派として受け取って視察を行っている。個人的に使用している費用はありません。また、領収書は全て提出し、ホームページで公開している。余った予算は全額を市に戻している。

A 政務活動費は、岩見沢市議会は会派におりている。現在、全てホームページで情報公開されていて、領収書も1円単位で確認できます。市役所の情報公開コーナーでも確認できます。

Q 市職員への圧力はあるのか？

A 圧力はありません。個人の感じ方があるので、一概には言えませんが、ないと考えます。

Q 視察報告を市民にわかりやすく、経過報告してほしい。また、誰でもいつでも見られる形にしてほしい。

A 報告会やホームページで報告をしています。これからも、視察に行けば、いろんな形で報告させていただきます。例えば、議会運営委員会は今年度他都市の現状、先進事例を鑑み、視察を中止いたしました。

A 他都市調査では、総務常任委員会の事例を説明。また、それぞれの常任委員会の視察の報告も、こういった経緯で視察に行っているか等の詳細もホームページに掲載しています。しっかりとチェックしてもらえればと思います。

Q 桜木の市営住宅の解体、住民の引っ越し等の流れは市議会に報告があるのか？跡地の方向性は？

A 老朽化の市営住宅に関しては、まちなかに集約する動きになっている。駅の北側に市有地があり、今、道営住宅の準備が進んでいる。これは、東町の道営住宅の移設である。桜木の市営住宅の流れは、耳に入っています。理論と感情のバランスが大事であり、丁寧に進めていく必要がある。跡地に関しては、明確なものはないと認識して

います。個人的な認識としては、広く募って売りに出さざるを得ない可能性が高いという認識です。

Q 人口減、労働問題等の対応への経過があれば、教えてほしい。

A 人口減が進むということは、財政状況が厳しくなります。岩見沢は合併により類似団体より公共施設が3割多く、今後の課題である。あらゆる場面で、人口減の要素を捉えながら議論している。

Q 交通の課題があり、参加したくてもできない方がいるため、意見交換会の場所を増やしてほしい。

A 今回は8か所、週末のみで行っている。ご意見としてしっかりと賜ります。

Q 町内会の役員の候補者の不足。魅力ある町内会にする必要がある。

A 行政が町内会の動きを後押しできる仕組み作りが必要であると、個人的には考えます。

Q 雪対策で、抜本的に設備投資をする等により排雪の改題解決の検討をお願いいたします。

A 工夫はとても大事。岩見沢市は、排雪堆積場がいろんなところに細かくある。少ない人員、少ないダンプでより多くの雪を運ぶことができるメリットがある。西20丁目の道路が予定されているが、それができれば、山方面まで運べるようになる。岩見沢の排雪体制は誇りのもてる部分だと思う。

⑥幌向総合コミュニティセンターほっとかん

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q (ご意見) 1月に人間ドックを受けた。近くの市立病院が混んでいてMR検査を受けられず、やむを得ず労災病院で受けたことがあった。合併後の市立病院でもMR検査をスムーズに受けられるように対応してほしい。

Q (ご意見) 温暖化防止対策について、市の職員から話を聞いたところ、断熱工事の補助の話がされたが、もっと大事なことはゴミの減量化だと思う。以前、焼却炉の設置の時に、生ゴミを堆肥化できないかという話をした。せめて給食センターだけでも、生ゴミの堆肥化ができないか。やれることをきちっとやるのが大事である。例えばヨーロッパで生ゴミを燃やすというのはいりえない話であり、日本だけではないか。農家の方も、肥料の高騰化で苦労している。焼却するものを減らしていくことが大事である。

Q 人口減少対策についてお伺いしたい。北海道新聞の情報だが2040年にならぬのかという予測が報道されていた。うちの町内は310戸だが、そのうち二十数戸は空き家である。周りを見ると、あと10年も経てば、うちの町内会も消滅までは行かないが、高齢者が多いので、いずれはそこも空き家になる。市の方でも対策を講じていると思うので、政策があれば教示願いたい。

A 岩見沢市でも現在、第2次の空き家対策が進められている。空き家の実態を調査しているのが現状である。令和4年度のデータでは、岩見沢市では348戸の空き家を確認している。幌向地区では70戸ぐらいではないか。利活用等の支援を含めて対策を進めている。

Q 移住・定住対策、空き家対策について。札幌の友人とすすきので会う場合、時間を決めて行くと、ドアからドアの時間として、私の方が早く着く。幌向は極めて札幌に近く札幌まで30～40分で行ける。土地代・家賃も安く、通勤にも有利性がある。しかし、三笠市を見ると、人口対策・空き家対策など、岩見沢より進んでいると思う。道新なんかの記事を見ても、岩見沢市はあまり見かけない。もっと充実した制度が必要ではないか。札幌の郊外よりも幌向の方がはるかに便利で良い。買い物の不便さは確かにあるが、住むという点ではこんなにいい所はないのではないかと。

A 移住・定住対策は、少ないパイの取り合いになっているのも事実である。私も30年前に移住してきたが、札幌ではその時も高価で買えなかった。今では札幌では5千万円近くなので、幌向も移住・定住にもっと力を入れてもいいのではないかと。意見や知恵を出していけば、まだまだ幌向にも可能性はある。三笠は盆踊りや高校生レストランなど、色々出している。以前私も質問したが、岩見沢も移住・定住対策には力を入れている。しかし、三笠とは街の規模が違うので、今の所なかなか同じような効果は出ていないかもしれない。

Q 空き家対策もあるが、人口が昔の9万8,000人から、今は7万8,000人くらいまで急激に減っている。岩見沢としてどのように危機感を持っているのか。このまま減り続けて、コンパクトシティでいいのか聞かせて欲しい。その結果が、空き家対策につながっていくのではないかと。

A 岩見沢市の人口は合併後減り続けているが、例えば南幌のように、増えている地域もある。子育て世代に対する支援制度も、岩見沢は比較するとまだ不十分な面も確かにある。少ない人口を取り合っているのが現況という指摘もあるが、子育て世代に対する支援が改善されていくことは、全体的にはいいことだと思う。

千歳から石狩にかけての高規格道路が出来つつある。ラピダス絡みの商業チャンスも生まれてくると思うので、チャンスを捉えられるようなPRも必要だと思う。PR不足という点から言えば道の駅も必要な施設ではないか。集中して岩見沢の魅力を発信できるような場所も必要である。この点も含めてPR能力、岩見沢市の魅力を発信できる場所を増やしていきたい。

Q (ご意見) 岩見沢市のPR不足は本当にいろいろな所で感じている。三笠は新聞等にしょっちゅう出るが、岩見沢市はほとんど出ない。出るとすればA1等の農業振興の話がほとんどである。それはそれで大事なことはわかるが、札幌に一番近いところがどんどん人口が減り、空き家も増えているのに何もしていないように見える。どん

な対策をしてどのようにしたいのか。もっとダイナミックな政策を講じてほしい。

- Q (ご意見) 地区協としては、空き家があるのでそれを活用して人口増加につながるようなことをしてほしいと市に要望しているが、なかなか具体的な政策・施策は見えてこない。移住してもらおう人が働けるような環境がない。卒業後に働けるような IT 関係の職場等、そういった企業を作る、持ってくる、そういったことも必要ではないか。岩見沢から出て行った人が戻って来られるまちづくりをしなければだめである。その辺が人口減の原因であり、ミスマッチになっているのではないか。
- Q (ご意見) 幌向に不動産屋さんがよく来ているという話を聞く。札幌の物件が高いので岩見沢で探しているということで来ているらしいが、最後は、岩見沢は雪が多いからということで終わってしまうらしい。それらの対策も含めてPRしていくことが必要ではないか。ふるさと納税でもあまり成果が上がっていないように見えるが、それから見ると岩見沢の魅力がきちっと発信されていないのではないか。市の魅力を発信するにあたり専門の業者の方にコンサルしてもらって発信していくというやり方も、一つの方法ではないか。
- Q (ご意見) うちの町内会に引っ越してきた人が、1歳の子供がいるので保育園に入れてくれないかと問い合わせたところ、入れなかったという状況があった。苦労してやっと岩見沢市の遠隔地に入ることができた。幌向の近くに入りたかったが、保育園の実態はどのようになっているのか。せっかく幌向に越してきたのに残念だと思う。もし十分でないのであれば拡充するような政策があってもいいのではないか。
- Q (ご意見) 保育園関連の仕事をしています。今岩見沢市内には13園ある。入れる・入れないの受付はあくまでも市役所であり、地元の保育園には権限がない。1年間待ってもらえば卒園が出るので、入園できる。小学校、幼稚園、保育園の環境を整えることも人口増につながるものと思われる。
- Q 町内会で、独居老人が増えている現状がある。認知症になった場合、包括支援センターで対応していると思うが、知らない人も多いと思う。PR方法について教えてほしい。岩見沢市の方で対策があればお聞かせいただきたい。例えば身内や知り合いで認知症になった場合、どちらかといえば表に出しづらい。そういう場合、包括支援センターの方に行って相談する形を取ると思うが、一般市民の方でもサポートできるものがあるのではないか。オレンジサポート連絡会が岩見沢市にもあるが、知名度が低

い。認知症になって、家族の人が困っている時に、それを誰に相談に行くか、それを相談しに行くところがない。包括支援センターに行って相談することすら知らない市民の方もいる。PR 的なものをどういう形でとっているのか。支援組織が、縦割り社会になってたら回しめになるのは良くない。リーダーシップを取るような形で周知していただければありがたい。

A 市では認知症カフェというのもやっているが、その辺りをしっかり周知できるようにしなければならない。私も家族がなった時どうすればいいか、その時には分からなかった。相談する場所があれば安心できたはずである。もっと PR を徹底できるようにしていきたい。

Q 幌向の北一条付近に今から数年前に札幌から引っ越してきました。車を手放したので、配送をする方に頼っていたが、その方が療養することになり、後任が決まらず 3 か月目に入った。できるところは自分の足で買い物をしているが、行政と企業でタイアップして何とか買い物ができるような環境を作れないかと思っている。早めに解決して欲しい。

A 高齢者の方は買い物難民になりやすい。トドックを利用している人も多いが、私も買い物が好きで農協とかラッキーに行くが、自分で手に取って買い物をしたい。これは、地域公共交通の問題でもあるので、引き続き各団体とも協議して行きたい。

Q 岩見沢でカルチャースクールの仕事をしている。岩見沢まで電車で行くが、今年は真冬に雪が融け、北の方の階段は雨漏りが発生し、3 段目ぐらいから凍って滑る状況になった。高齢の方はほとんど歩けない状況であった。議員の方に電話し、翌日駅に行くと言われた。3 名の男性の方々が来ていた。対応がスピーディーで希望が持てた。その 1 週間後にはゴムマットを敷いてくれていた。その次の週には雨漏りのところが養生されていた。これまでの経緯について伺いたい。対応していただいた議員さんにはこの場を借りてお礼を申したい。

A 歩道橋については、私も 2 回一般質問している。今年の冬の雨漏りは今までと違い大規模だったので、危険度が更に高いということで再度質問した。しかし、今回は上の排水溝が落ち葉等で詰まったことにより水が大量に流れて凍ったので、小規模改修で対応したいという返答であった。高齢化対策の一環としてもやっていただきたかったが、助成金等が出れば考えるという回答であった。

以前、エレベーター設置は 3,000 人/日の利用者がいたらというのが基準であったが、令和 3 年にバリアフリーの関連の変更で、2,000 人/日の利用者という状況になった。社会の制度が変わる節目の時に、大規模改修やエレベーターの問題の決着

を付ける糸口が生まれると考えている。諦めることなく、これからも取り組んでいきたい。

Q (ご意見) 幌向も人口が少なくなっている。岩見沢市も将来的には 4 万 5000 人というデータが出ている。札幌から来ると JR の半分近くは江別で終わる。どうして岩見沢まで来ないのかといえば線路をもう 1 本引かなければならないという。これでは不可能である。幌向は西の玄関である。いかに札幌に近いのか、地の利を生かした討論を、皆さんでやってほしい。

幌向も岩見沢もあちこちに神社がある。神社は町内会も含めて、みんなでやらなければならない事業である。維持管理や草刈り等も含めて、無くなる事にはならない。

幌向が始まり、私達で 3 代目になるが、幌向の町をいかにして存続させていくか考えていただきたい。

⑦北村環境改善センター

【会場写真】



【質疑応答内容】

Q 行き止まりの私有地や私道などを市有地化して除雪やライフラインの整備をしてほしい。道路の凸凹や排水の実態などについて聞きたい。

A 日常的に関係部署へ要望は届けているが、予算や工事の優先順位があるのでご理解ください。引き続き要望は届けていきたい。

Q 空き家対策では、空き家が増えてきているので根本的な見直しが必要ではないか。また解体での資源再利用も必要。

公営住宅・栄町の空き家の有効活用（人口を集中）を促進してほしい。移動販売車

も来るのではないか。

合併後の公共施設の維持管理が大変になってきているが、いつ解体等がされるのか。早く更地にする等の取組をしてほしい。赤川地区・ヘラブナ公園の柵が壊れており、遊びに来ている親子や近くに小中学校もあるので危険。修理整備をしてほしい。

北村環境改善センターが建築後年数が経過しているが、改修やエアコンの整備についての要望もある。

A 空き家対策については市としてもチェックしています。空き家で危険な状態の家の持ち主に解体や改修を連絡しているが、あくまでも個人の所有なので限界があるが、解体費用の市からの補助を進める。4月から相続の制度が変わったので空き家の管理が進む。空き家を改修して住めるようにしてよそから来て住んでもらう取組が必要。

A 改善センターの改修要望を町連からあげていただければ、委員会などで検討がしやすくなります。改善センターが町の中心的な大切な役割があるのでエアコンの設置も検討。ヘラブナ公園の柵の改修も要望をまずは市へ出してほしい。

A なかなか明快な答えが出せないが、要望に対しては努力していきたい。点在する公共施設の解体などは、予定はあるが予算との兼ね合いで期日は明確にはなっていない。

Q なぜこの時期に農家が忙しいのに開催するのか、若者を大事に優先して開催してほしいとの苦情を言わせてもらう。

中央バス月形線が来年廃止されたら、ますます北村が住みづらくなる。改善センターに来るのにも高齢者は大変です。さらに商店が無くなっている。買い物に行くのにも足の確保が必要ではないか。

A 開催日の設定についてお詫びをしながらも、議会としては春と秋に開催を計画して意見交換会を進めてきて、若者が参加できるように土日の開催を決めてきた。農村地帯はこの時期は田植えなどで忙しいことは理解しており、北村や栗沢は秋の開催という考えもあったが、他の地域で開催しているのになぜやらないかと思われるよりは皆さんのご意見を聞くためにやる方向で設定しました。

A 中央バスの撤退問題については、報道後ただちに月形町と連携をとっている。今の便数を確保するために、月形町がバスの運行を協議中です。2自治体をまたがる運行は全国的にも珍しい事例の中進められている。月形町と岩見沢市との経費の負担割合も検討されている。

A 中央バス問題は、通学・通院の足の確保のために、便数も確保していくようにしていきたいが、今までの中央バスへの補助金のこともあるので、今後月形町との負担割合の協議を進めることになる。

Q 北村の戸数と人口について教えてほしい。

A 正確ではないが人口はおよそ1,900名ではないか。戸数は明確に把握していない。

Q 北村地域・栗沢地域・岩見沢市内のそれぞれの世帯数や人口を、広報などで分かりやすく表示してほしい。

A 北村遊水地の影響もあり人口は減少している。北村温泉を中心とした道の駅の建設について個人の考えを述べた。地域別の掲載は市の広報誌の担当者へ伝えます。

Q 市内栄町では持ち家が多いが、高齢者の一人暮らしが多く、買い物や通院のためのバス利用が大変になっている。サービス付き高齢者住宅は経費が15万円もするため年金では入れないので、公営住宅への居住を検討してほしい。

A 公営住宅には制度もあり持ち家がある人の入居は難しい面があります。すぐには解決できないが市には伝えていきたい。

A 空き家対策では民間の不動産業者が古い家を買取りリフォームして安く販売したり、入居に結びついていることもある。

Q 住民と行政の間に入って仕事をするのが議会と理解している。町会の維持や解散、町会未加入や脱会が多くなってきている。役員を一度引き受けるとなかなかやめられない。市として町会加入への対応を要望して欲しい。議会として北村地域で抱えていることをどう理解しているのか聞きたい。

A 農業人口の減少や高齢化もあるが、若い世代や商工会の方も頑張ってもらっている。北村温泉を中心としながらのまちづくりも検討。

関係機関に要望をしているが、買い物をする店が少ないが、新たな開店は利用者が少ないとできない現状もある。

地域での対話を進め、まちづくりに生かしていきたい。

A 町会長は決まるがその他の役員のなり手がいない現状がある。

Q 今年開通する新しい道道（遊水地付近）で、冬の時期に死亡事故があったが、防雪フェンスの設置について要望したい。

A 町会から要望を早めに関係機関へ出してください。

A 自身も毎日利用しているが、毎年事故もあり死亡事故も発生しているので関係機関へ問い合わせ働きかけたところ、現状では防雪フェンスは必要ではないとの判断であったが、地域に住む立場から再検討を求めた結果、今年調査が進むようです。道の管

轄であるので道へ要望をあげてほしい。

Q 町会の未加入が多い中、ごみは出す人が多いという問題があるが、今後検討が必要ではないか。

A 市への要望を届けていく。地元では個人の家々の番号を記入して出しているが、ごみステーションの適正利用と町会加入も併せて進めていくことを、いろいろな機会やつながりを通じて取り組むことが大切。

A 地元ではごみステーションへ監視カメラを設置し、一定の効果があるようです。未加入者が不法投棄をする事例があるようですが、町会加入率を高める取組を一緒にやりましょう。

Q 市立総合病院と労災病院の統合で新しい病院を建設中だが、財政が厳しい中で多額の金額での建設を、議員の皆さんの目を光らせて少しでも安くできるようにしてください。統合の面では良い医師や看護師の確保をしてほしい。

A 現状では、労災病院の医師やスタッフが新病院で働き続けたいという意向が少ない。労災病院は企業、市立病院は自治体との違いがあり、統合によりどこまでの病院を作るのか、トップの思いを伝えることが大切。

市長は夏場までには設計変更を行い、機能が失われず経費が安くなるような施設を作るような話をしているが、議員側は厳しい意見になっているので、様子を見させてください。

A 大変関心が強い場面です。市長はリミットとして開院は令和10年と決めて進めている。議会としては特別委員会で常に監視して正している。大成建設は資材人件費高騰で、概算事業費が当初の344億から423億円となり、現在設計の見直しをしている。市は60億程度下げていきたいところ、大成建設はなかなか厳しいとのことですが、どこまで見直せるかは議員としても監視をしていきたい。

Q 温泉のことで、北村・メープルの2か所の実態について、市の財政に影響はないのかを聞きたい。

A メープルは改修が行われ利用客が増えている。北村温泉は利用客からいろいろな声を聴いているが市が撤退することはないしホテルも運営をしていく。2年前に2億4千万円をかけて改修したがさらに浴槽も改修をと思っている。

⑧栗沢市民センター

【会場写真】



【質疑応答内容】

- Q** カラスがごみステーションを荒らしている。(ゴミが飛散している。)
- A** 市内全域にて同じような状況が散見されている。改善に向けて努力していきます。ご意見として賜ります。
- Q** 国道 234 号線の歩道（栗沢中学校から栗山方面の加茂川地区まで）の雑草が伸びていて通学等での危険を感じる。冬季間の除雪も膝丈以上の除雪しかされていなく、国道を歩いている人もいる。
- A** 夜間等の危険性もあると思う。国道であるので岩見沢市での対応は難しいが、意見交換会でこのような指摘があったことは、後日、札幌開発建設部にお伝えします。
- Q** 弥生ヶ丘団地の通学路に空き家があり、毎年落雪の危険性がある。市も把握しているが対策が取られていない。
- A** ご意見として賜ります
- Q** 高齢者にとって地域交通が不便である。イオン等のバスが定期的に来てくれることは難しいのか。
- A** イオンについては民間企業であるので難しい問題ではあるが、需要と供給が合えば可能であるのかもしれない。
- Q** オンデマンドバス等の活用も含めて、住民が安心して暮らせるように地域交通の整備を進めて欲しい。
- A** 栗沢だけではなく、岩見沢全体で住民が安心して生活できる地域交通の在り方を目

指して、活動していきます

Q 地域交通が十分ではなく、多くの高校生が自転車で岩見沢に通い、札幌に通学する学生については保護者が毎日、幌向駅まで送迎している。こうした現状を認識して頂きたい。

A 新病院建設についても交通問題が取り沙汰されている。現状を改めて認識します。

Q 高速くりやま号の栗沢停留所への補助金問題については、熟慮を重ねて欲しい。

A ご意見として賜りました。

Q 4月1日から栗沢病院の午後の診察が無くなった。栗沢病院は今後どうなるのか心配である。義務教育学校はいつ開校するのか。本町2条通りの排雪が今年は一度も無かった。地域おこし協力隊が東部丘陵地帯に集中している。

A 午後の診察が無くなったことを知らない住民の方が、多くいることは認識している。周知不足だと感じます。義務教育学校については、改めて適切な時期にご説明をさせて頂きたい。2条通りに排雪が一度も入らなかったことについては、今後の課題として認識させて頂きます。地域おこし協力隊についてはご意見として賜ります。

Q 岩見沢の産婦人科が充実していない。

A 民間のクリニックも含めて産婦人科が不足していることは認識している。今後の大きな課題であると感じています。

Q 岩見沢市立病院はコミュニケーションも含めて評判が良くない。

A 有能な職員も多数いると認識しています。今後、少しでもご満足して頂けるように議員も努力致します。

Q 栗沢中学校に早くエアコンを設置して欲しい。

A 今年度中に設置できるかは分からないが、少しでも環境を改善できるように努力します。

Q 昨年は教室内が35℃を越えダンスの授業が出来ず、急遽、市民センターをお借りした。大変涼しく助かった。

A そのような事例も含めて、今年も臨機応変に対応していきたい。

Q JR室蘭線の問題は議会でどのように把握しているのか。

A 市民の皆様と同程度の把握しかできていない。

Q 学校給食費は市が負担するという考え方はないのか。働き方改革が推奨されているはずなのに正月1日からパートや出勤する人が多数いる。全国に先駆けて岩見沢市が大手企業と調整をして、ゆとりのある時間を取り戻せるような行政の在り方があって良いのではないか。このような事も議会として多角的に考えて欲しい。

A 貴重なご意見を聞かせて頂きました。

Q 最上の住宅街から国道に下がる際に雪山が高すぎて車の合流が大変危険である。

A 最上以外にもそのような箇所が多く見受けられるので、今後の検討課題としたい。

Q 国道234号線からセイコーマートまでの通学路(本町南線)の排雪回数が今年から減った。本町南線は234号から札幌、江別、南幌に向かえる道でもあり、栗沢地区でも一番交通量が多い道でもある。排雪が減ったことによって、今年はバスや大型車両が交差出来なく、渋滞が頻発した。子供が交差点で歩行者ボタンを押すと信号が変わるが、道路状況が悪過ぎて信号が変わるタイミングで多くの車両がスリップ、または雪山に突っ込むような状況も散見され大変危険である。早急に対応をお願いしたい。

A 本町南線は大型車両も含めて交通量が特に多いことは認識している。また、年内に排雪が入らなかったことも把握しています。交通量が特に多いことと、一番通行量のある小中学校の通学路でもあるので、その優先度や危険性も含め、改めて市に伝えていきます。

Q 父が除排雪の仕事をしているが、由良の工業団地付近の吹雪が毎年激しい。

A 例年、由良の工業団地付近で大きく天候が変わります。気をつけて通勤して欲しい。

Q 栗沢に移住してきて20年が経過するが、街中の衰退を危惧している。しかしそんな中でも、空き家やSNS等も活用して他方から多くのお客さんを集めているような新規のお店が多数ある。市としてもPRして頂きたい。

A そのようなお店を、市として改めてPR出来るような手法があるのかも含めて聞かせて頂きました。

Q 人口減少が日本の喫緊の課題である中で、枝廣議員は選挙時に岩見沢の国際化の推進を掲げられました。そんな中で、もう外国人にしか頼める状況ではないのか、それ

ともまだまだ日本人の方にこの岩見沢や栗沢に住んでもらう案はないのか気になりました。

A 大学を卒業後にワーキングホリデーのビザを取得してオーストラリアに長期滞在しました。その後も発展途上国を中心に様々な国を歩き回りました。一昔前に発展途上国と言われていた国は、いま現在とても大きな経済成長を遂げています。東川町を始め、北海道でも外国人の多様な発想や力を一助としている市町村もあると思います。そういった事例も含めて、岩見沢でも更に参考にできるような事があるのではないかという思いも含めて、国際化の推進を掲げました。

Q 岩見沢市と合併して18年が経過した。私は当時、栗沢町の建設課長であった。合併して行き届いた行政なんて出来ないと思う。新しい病院についての質問です。立派な建物は出来ると思うが、十分な駐車場の確保は厳しいのではないのか。

A 現状では患者用412台、職員業者用が606台、合計1,018台の駐車場を確保する計画です。

4. アンケート集計結果

【来場者数およびアンケート回答者数】

	会 場	来場者数	回答者数
①	南部連合会館	1名	0名
②	日の出コミュニティセンター	16名	16名
③	南コミュニティセンター	6名	6名
④	緑が丘連合会館	15名	14名
⑤	北ふれあいセンター	21名	20名
⑥	幌向総合コミュニティセンターほっとかん	13名	10名
⑦	北村環境改善センター	10名	10名
⑧	栗沢市民センター	13名	11名
	合 計	95名	87名

- 来場者数 計95名
- アンケート回答者数 計87名（回収率91.6%）

【アンケート結果】

■今回の意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者87人の平均年齢 63.3歳）

回答	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
人数	3	1	4	6	4	11	40	18	0

性別 A 男性 B 女性 C 無回答

回答	男性	女性	無回答
人数	40	19	28

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 市議会だより C 市議会フェイスブック
D 意見交換会ポスター E 知人 F 新聞など G その他

回答	A	B	C	D	E	F	G	無回答
人数	6	47	4	18	12	6	16	0

G その他で記載のあったもの

- 町会
- 回覧チラシ
- 学校
- 家族に聞いて

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 報告内容に興味がある C その他

回答	A	B	C	無回答
人数	34	39	11	4

C その他で記載のあったもの

- 意見があるため。
- 初めての参加です。お願いしたいことがありまして伺いました。
- 市議の方が、私達に将来どのような様な岩見沢市の姿を見せてくれるのか聞きたい。
- どのような意見が出るか聞いてみたいと思った。
- 議会から市へ要望していただくため。
- 意見を出す機会が欲しかったから。
- 自分たちの学校の参考になることがあると思ったから。
- 栗沢の活性化に興味がある。

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（テーマを設定せず自由な意見交換とする方式）について

A 良い B 普通 C 悪い D その他

回答	A	B	C	D	無回答
人数	59	20	1	2	5

D その他で記載のあったもの

- 良い場合もあれば悪いと感じることもあるのでどちらとも言えないのが実情です。
- 共通テーマがあった方が良い。

日時の設定について

A 良い B 平日昼間 C 平日夜 D その他

回答	A	B	C	D	無回答
人数	53	12	6	7	9

D その他で記載のあったもの

- 土日の夜。
- 議会の都合の良い日で良い。
- 地域の産業特性を考えてほしい。
- 農家の忙しい時期は避けた方が良い。

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

回答	A	B	C	無回答
人数	77	1	3	6

C その他で記載のあったもの

- もっと多くの会場で計画してはどうか。
- 地域ごとに細分化して開催を希望。
- 広すぎる。

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

回答	A	B	C	無回答
人数	77	1	5	4

Q5 今後の意見交換会について、どのようなテーマであれば参加したいと思いますか？
その他、今回の意見交換会でお気づきの点等ありましたらご記入ください。

- 色々なテーマで話し合うのが良いと思う。
- やれないではなく、やれる方向で考えて頂きたい。
- 前向きではない。
- 自由な意見交換会が良いと思います。
- フリーで良いと思います。ただ、前向きトークで。
- 早めに意見交換会があるとわかれば考える時間があり、広く意見が聞けるのではないかと。町会の回覧に出すのも良いのではないかと思います。高齢化のため会場まで来れない方もいるのではと思います。
- 98%の借金とは。今後どうするの？夕張の教訓を。
- 大変有意義でした。
- 新病院建設の件。
- 中心市街地活性化の件。
- 東部丘陵地域の今後の在り方について。
- 若者向けオンライン意見交換会をするのもいいかと思っています。
- まちづくり(未来に向けて)、今(現状)とそれぞれの立場で話して、どうい解決を図りながら、住みやすいまちにしていくのか、学校、職場、地域というような場での意見交換会があったらよいかもと感じました。
- 特にテーマを設けずに行った今回のやり方で問題はない。
- 要望は広く多くなってしまっているので持ち帰って対応を考えるのも大変だと思います。ありがとうございます。ゴミ減量化・生ゴミの水切りは回覧でも度々周知されています。周知されているのに効果が出ないのはなぜかということに触れていただければと思います。
- 今後も続けていただきたい。ゴミ処理については町内会としても 減量に向けて努めたいと思っています。
- 幌向の交通を考える・検討。市立病院移転に伴い、労災病院まで経由するルートを検討してほしい。
- (1) テーマについて
 - ①市の将来構想の話 ②市の具体的な運営方向
- (2) 今回の意見交換について
 - ①内容が広すぎてまとまりがないので、もう少しテーマを絞って意見交換した方が良いと思う。
- 意見交換会を開催する時点で、事前に質問を取りまとめ、返答し時間の効率化を図ってほしいです。
- 18~40 歳までの今後を支える人たちを集められるようお願いいたします。
- 毎年開催は継続して行ってほしい。

- 時期的・時間的なこともあると思うが若い人がもっと来てほしい。
- 今回出された意見で良い。高齢者の安全安心な生活、買い物、通院、住居の確保。
- 女性の政治参加について。テーマを提起してもよいと思います。
- 議会によろしくお願いします。
- 交通の不便をみんな感じているんだなと思った。

■岩見沢市議会について■

Q6 これまでに市議会（本会議・委員会など）を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

回答	A	B	C	無回答
人数	19	53	0	15

Q7 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

回答	A	B	C	無回答
人数	72	1	0	14

Q8 市議会ポスターを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

回答	A	B	C	無回答
人数	48	23	0	16

Q9 市議会フェイスブックを見たことはありますか

回答	A	B	C	無回答
人数	16	55	0	16

Q10 本会議のインターネット中継（市議会 YouTube チャンネル）を見たことはありますか。

回答	A	B	C	無回答
人数	13	59	0	15

Q11 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

- バス券、どこかの新聞に記載されていませんか？子ども料金で高齢者の方はどうでしょうか。
- ガンバッテください！
- 子供のいる親として市議会 YouTube はありがたいです。
- 市民のことを考え、もう少し便利な町、住みやすい町にした方が良くと思います。良い方向ではなく悪い方向にいらっていると思います。人口が減るのもわかるような気がします。若い人たちが住みたい町にしてほしいです。
- 若い方からの意見を聴く場もあったらと思います。参加者を見ると高齢の方が多かったのので、中高、20～40代の方など、未来を担う方が参加しやすい形での開催があったらと感じました。本日はこのような場に参加させていただき、ありがとうございました。
- 空き家対策。

- 岩見沢市の人口の減少が著しい中で、岩見沢市立新病院新築に 423 億円を減少し検討の上 360 億円とか、これは大変大きなことであり、医師不足なこと、運営はできないと思うし、借金は市民が払うことになります。市立病院の新築よりも、子供が市内で産むことができない。産婦人科がなくなり、他市町に行くことになる。市立病院にお金をかけるくらいなら、個人の婦人科病院に子供の助成金を出してやったほうがいい。隣市町村でも市立病院を新築している美唄市等も大いに勉強すべきと思う、美唄市は 37 億円ですべてできている。南空知地域の広域病院だと市長は言っているが、補助残は岩見沢市民が支払うことになるのではないかと良く検討を願いたい。
- 生の意見を聴く機会を作ってください、ありがとうございました。これからもよろしく願います。
- 議員さんは 市民のために多くのご苦勞を重ねていただいています。ただ、長年市民から同じ要望を出されていて、毎年のように議会へ提言し、市民にも返答されていますが、その動きを伝えて（経年変化の要望）、市民にもどうしたらよいか、意見を求めても良いと思います。要望内容によっては 地域全体の実情に合わないものもあり、代わりの方策の方が良いものがあると思うので、そのような返答にしても良いと思われま
- す。
- 災害時の高齢者避難支援、昨年度から町内会の役割が求められているが、増々対象者が増えるのは確実で、対応には限界がある。何とかしてほしい。
- 若い人にもっと参加していただくよう工夫してほしい。将来の岩見沢を担う人達に、岩見沢市の現状・将来を知ってもらう機会にしてほしい。
- 積極的な意見交換会の取組は大変良いと思います。定期・継続を、続けて下さい。今回のテーマで持ち帰り案件、具体的に返答を実行してください。
- 18～40 歳までの男性・女性の声を聞ける方法を、市議会全体で考えてください。
- 今後とも、開催お願いいたします。
- 安心して暮らせる街に！
- 人口も 75, 000 人を割ってしまったようですが、何か具体的な対策は立てているのでしょうか。
- 競馬場跡地は今どうなっているのでしょうか。活用の目途はあるのでしょうか。少子化対策は待ったなしの感じだと思う。道内でも子育て世帯が増えている町があるので色々と参考にしながら頑張ってください。
- 参加してよかった。栗沢をより住みやすい町にしてほしい。

5. 最後に

岩見沢市議会広報広聴委員会 市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成28年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

令和元年度から令和3年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市民の皆様と対面での実施ができませんでしたが、コロナ禍を経て令和4年度より対面での開催を再開することが叶いました。

今回は、8か所の地域会場に出向いて開催をさせていただき、それぞれの地域で抱える課題をはじめとした多様な御意見・御要望をいただけたことに、感謝を申し上げます。今後の議会としての活動に向けて、大きな意義を持つものとなりました。誠にありがとうございました。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できるように務めてまいります。

御協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長
峯 泰 教